



NEWS LETTER

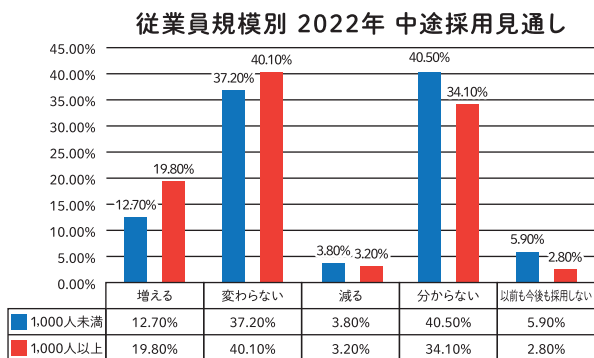
2022
Oct.
#05

「Recruit=人材採用」を「黒子=Croco」のようにサポートしたい。

ごあいさつ

爽やかな秋晴れの日々が続くこの頃、貴社いよいよご盛栄のこととお慶び申し上げます。今月はリクロコの採用動向についてです。是非、お時間のある時にお読みください。

2022年の採用動向について



出典：リクルートワークス研究所
「中途採用実態調査 2021年度上半期実績、2022年度見通し 正規社員」

2021年度はコロナ禍のため採用意欲が減退したものの、2022年度は一転して回復し、再び人手不足状況が予想されています。

リクルートワークス研究所によると、従業員規模別に見ると、全ての従業員規模で「増える」が「減る」を上回りました。しかしながら、売り手市場の現在において、ほとんどの企業の採用担当者は採用難でお悩みのことと思います。労働人口の低下や企業が求める人材の高度化などさまざまな要因が絡む今、一つの対策では解決はできません。

なぜ?? 採用難の要因

01 人材にコストをかける余力がない

少子高齢化が進み、かつ日本の人口が減っていることもあり、日本の労働市場は縮小傾向にあります。多くの企業が、人材を育てている時間やお金がない...という状況に陥っており、即戦力となる人材の確保を求めています。



02 就業の価値観の変化

社会の多様性は、価値観の多様性を生み、労働者全般の仕事に対する価値観が変化しています。現職で活躍している人たちは、ワークライフバランスを意識する傾向が高く、どちらかというと、仕事より自分や家族などプライベートを重視する傾向があると思われます。



03 働き方の多様性による人材流動の激化

人材確保の取組みとして、勤務時間や勤務場所の条件を柔軟化する企業が増加。売り手市場の現在、働き方の多様化で労働者の転職ハードルを下げると共に自社人材流出のリスクにも繋がります。反対に他業界、他業種から新しいものを取り入れようとする企業において様々な知識や経験、価値観を持つ人材を確保するチャンスです。

採用難だからこそ、自分たちがどのような人物を求めるのか、**私達RECROCOと一緒に、自社採用の本質を深める、考えてみてはいかがでしょうか？お気軽にご相談ください。**

速報!!!

主要都道府県の最低賃金

最低賃金が
2022年10月1日より変わりました!

愛知県 986円 ▶ 31円UP	北海道 920円 ▶ 31円UP	福岡県 900円 ▶ 30円UP
岐阜県 910円 ▶ 30円UP	東京都 1,072円 ▶ 31円UP	沖縄県 853円 ▶ 33円UP
三重県 933円 ▶ 31円UP	大阪府 1,023円 ▶ 31円UP	



ご相談やお悩み、営業/廣瀬のレスポンスが遅い場合は、LINEからも受付OK! ▶▶▶

